

## 6年研究授業の成果と課題

### ①資料の効果的な活用のための工夫（考えをもたせる手立て）

#### 成果

- ・日本とつながりのある国を世界地図にまとめたことで、いろいろな国と日本がつながっていることが視覚的に理解でき、調べ学習への意欲向上になった。
- ・ALT をゲストティーチャーとして活用することで、文化や習慣の違いを身近なこととして考えられたり、他国の文化を尊重しながら自国の文化を大事にする意義について考えられたりすることができた。
- ・課題とする国を教科書に掲載されている国にしぼることで、身近な資料を効果的に活用しながら調べられ、自分の考えをもつ手立てとして有効であった。
- ・司書教諭と連携を図り補助資料を多様にそろえたことで調べ学習が充実し、異なる文化や習慣について自分の考えをもつことにつながった。

#### 課題

- ・調べ学習の1回目では多数の児童がタブレットから入ってしまい、情報量に差が出てしまった。次回からは、教科書から共通して調べを始め、そこからグループの中で役割を分けることで多様な情報が集まるよう修正を図った。

### ②課題設定、活動に興味、関心をもたせるための工夫（主体的な学びにつなげる手立て）

#### 成果

- ・衣類のタグ、ファーストフードの加工物の生産地などから外国産を見つけることで、外国とのつながりを身近に考えることができ、調べ学習への関心を深める導入を図ることができた。
- ・調べ学習ではジグソー法を講じたことで、調べることの意図や調べ学習のゴールイメージが明確になり、主体的な調べ学習となった。

#### 課題

- ・調べたことを全て発表したいという欲求と、聞いたことを書き写すという思いが強く、発表に時間がかかってしまった。そこで、発表する視点を同国グループで3つにしぼるよう検討させ、交流の簡易化を図った。

### ③児童の変容・教員の指導の工夫（事後研究）

#### 児童

- ・次単元で国際協力にかかわる日本の活動について考えを深める学習に入ったときに、外国のことと捉えずに、世界が抱える問題として主体的に意見を交わす姿があった。

#### 教員

- ・調べ学習には、ねらいと意図とゴールイメージをもたせて、何のため調べ、どのように発表するかを明確にもたせている。

白地図につながりをもとめる



ジグソー法で班に戻り、調べたことを紹介する

